



国民春闘共闘

2026年度 第8号

2026年3月13日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

26 国民春闘共闘 第1回賃上げ集計 (3月12日現在)

8千円台でスタート!

昨年を上回るも、生活改善には不十分

<回答状況>

	2026年	2025年同期
回答引き出し組合	321	359
うち 有額回答	209(65.1%)	227(63.2%)
うち「定昇確保」など言葉による回答	112(34.9%)	132(36.8%)
うち 2次回答以上の回答	13(4.0%)	12(3.3%)
うち 妥結組合	29(9.0%)	30(8.4%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		26年要求	26年回答	25年同期	同期比	25年最終
単純平均	額(円)	33,992	8,646	7,499	+1,147	9,280
	率(%)	11.09	3.14	2.79	+0.35	3.31
加重平均	額(円)		8,106	7,028	+1,078	8,468
	率(%)		2.74	2.70	+0.04	2.85
	組合員数		22,779	27,601		98,959

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	前年実績以上	前年実績超	26年回答	25年実績	実績比
単純平均	額(円)	187	90(48.1%)	71(38.0%)	8,525	8,736	-211
	率(%)	118	50(42.4%)	42(35.6%)	3.08	3.31	-0.23

<非正規の仲間の回答状況>

	26年回答		25年同期		同期比		25年最終	
	額(円)	率(%)	額(円)	率(%)	額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
時給制	47.8	5.13	44.2	5.22	+3.6	-0.09	46.1	4.63
月給制	6,912	2.98	6,045	3.43	+867	-0.45	5,724	2.79
再雇用・時給	57.3	5.05	47.2	5.83	+10.1	-0.78	47.0	4.33
再雇用・月給	4,692	1.59	6,979	4.56	-2,287	-2.97	7,812	4.31

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引き出し・妥結状況

26 国民春闘・回答集中日翌日の 3 月 12 日に行った第 1 回賃上げ集計には、14 単産・部会から報告が寄せられ、321 組合が回答を引き出しています（前年同期 2025 年 3 月 13 日：16 単産・部会 359 組合）。

このうち金額もしくは率が明らかになっている有額回答を得たのは 209 組合（65.1%）で、112 組合（34.9%）は「定昇確保」、「ベースアップ獲得」など言葉による回答となっています。現時点で回答引出し組合の 9%にあたる 29 組合が妥結・收拾方向となっています。

回答内容

26 春闘での要求水準は、単純平均（一組合あたりの平均）で 33,992 円・11.09%と国民春闘共闘委員会が掲げた要求基準である月額 33,000 円以上（10%以上）を上回る水準となっています。

有額回答が示された組合のうち、回答金額が明らかとなっている 205 組合での単純平均額は 8,646 円で前年同期（2025 年 3 月 13 日：7,499 円）を 1,147 円、加重平均額（組合員一人あたりの平均）も 8,106 円と前年同期（7,028 円）を 1,078 円上回りました。

引上げ率は、132 組合での単純平均で 3.14%（前年同期比+0.35 ㊦）、加重平均 2.74%（同+0.04 ㊦）といずれも前年同期を上回っています。

前年実績で比較可能な 187 組合での単純平均額を見ると、今期は 8,525 円で前年実績比 211 円減、引上げ率では 118 組合の単純平均で 3.08%と前年同期比 0.23 ㊦減となっています。このうち前年実績を超える回答を引き出したのは金額で 71 組合（38.0%）、率では 42 組合（35.6%）です。

JMITU の 4 組合、生協労連 2 組合、出版労連 1 組合が 2 万円以上の回答を引き出したのをはじめ、前年同期の 66 組合を上回る 82 組合が 1 万円を超える回答を勝ち取っています（JMITU：36 組合、出版労連：12 組合、化学一般労連：9 組合、生協労連（卸売・小売）：6 組合、建交労・運輸、日本医労連（医療）：5 組合、全印総連：4 組合、民放労連、生協労連（社会福祉・介護）：2 組合、建交労（サービス）：1 組合）。

最終集計単純平均 9,280 円・3.31%と 1997 年（9,659 円・3.29%）以来 28 年振りの水準となった 25 春闘並みの賃上げを見据える回答状況となっており、賃金引き上げの流れは継続させていることが伺える結果となっています。しかし、実質賃金低下と物価高が続くもとで、生活を支える上では不十分です。

また、低く据え置かれてきたケア労働者の賃上げは、医療・介護支援パッケージや報酬引き上げが予定されているにも関わらず、医療で加重平均 5,481 円・1.86%、社会福祉・介護では 4,849 円・1.89%と他産業と比べ低水準となっています。「賃上げ財源が継続するか分からない」と基本給引上げをせずに「手当回答に留まる」、「回答が先延ばしされる」といった報告も寄せられており、他産業との格差の拡大が懸念されます。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況は、別表の 6 単産 75 組合から 208 件の獲得報告が寄せられました。

このうち、時給制労働者では 130 件の獲得報告で、額が判明している 103 件の平均は 47.8 円となっています。引上げ率では 7 件平均で 5.13%となりました。

月給制労働者では 37 件の獲得となっており、引き上げ額は 34 件平均 6,912 円、率では 9 件平均で 2.98%となっています。

再雇用・継続雇用者の賃上げ状況では、時給制は生協労連からの 25 件の報告で単純平均 57.3 円 (24 件平均) となっています。月給制再雇用・継続雇用者では 13 件の報告が寄せられ、4,692 円 (12 件平均) となりました。

日本医労連や生協労連の組合で時間額 100 円以上、月額 1 万円以上の引き上げを勝ち取った報告も寄せられているものの、全体としては生活改善に資する賃上げにはなっていません。

多くの仲間が「一発妥結」をせずにとたかいを継続しています。集中回答日翌日の全国統一行動日には回答引出し・上積み求めて全国各地でストライキや職場集会、街頭宣伝などがとりくまれました。引き続き、ストライキも背景に粘り強く交渉を重ね、すべての労働者の大幅賃上げ・底上げを勝ち取っていきましょう。